

人間生活工学製品機能認証 認証登録継続申請書 他製品への機能付加 説明書

すでに認証登録されている製品情報

認証番号	第 23240100 号	
認証登録期間	2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日	
認証を受けた 製品の範囲	製品名：真空断熱ボトル MKA-K	
ディスクリプション	人間生活工学機能の名称	
スムーズに開栓できます	開閉ボタンが押しやすい	
開閉とロックが一連の動作で行なえます	ロック構造が分かりやすく操作しやすい	
ボトルを傾け、フタが顔に近づいたときの 圧迫感を減らします	フタが奥まで開き飲む際の圧迫感が少ない	
飲み口以外の箇所が唇に当たることなく 飲めます	飲むときの唇への不快感が少ない	
飲み口形状が唇にフィットして飲みやす い	飲み口形状が唇にフィットして飲みやす い	

今回申請する製品の内容（認証登録されている製品との比較を含む）

<p>【今回申請する製品名】</p> <p>真空断熱ボトル MKR-W</p> <p>【製品の内容（認証製品との違い）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 色を含む意匠（本体およびせんの、形状と色）を変更 <p>変更理由：市場のトレンドが、直線的な意匠から曲線的な意匠へシフトしていると捉え、全体形状を曲線的に変更した。色についても、トレンドを反映させて変更した。</p>

・ 飲み口形状を変更

変更理由：上記の形状変更にもない、せん形状に収まるように飲み口を再設計した。
 その際、認証済 MKA-K の飲み口の設計思想である「飲むときの唇への不快感が少ない」「飲み口形状が唇にフィットして飲みやすい」を踏襲した。

【取得済 MKA-K 画像】



【本申請 MKR-W 画像】



【取得済 MKA-K のせん画像】



【本申請 MKR-W のせん画像】



今回申請する製品へ付加した人間生活工学的機能の名称とディスクリプション

今回申請する 製品の範囲	真空断熱ボトル MKR-W	
ディスクリプション	人間生活工学機能の名称	
スムーズに開栓できます	開閉ボタンが押しやすい	
開閉とロックが一連の動作で行なえます	ロック構造が分かりやすく操作しやすい	

飲み口以外の箇所が唇に当たることなく 飲めます	飲むときの唇への不快感が少ない
飲み口形状が唇にフィットして飲みやすい	飲み口形状が唇にフィットして飲みやすい

当該機能が別の製品に付加されたことによる、機能の発現への影響について

別製品に付加されたことによる、機能発現への影響を検証するため、使用性評価を実施した。評価は社内で行ったが、主観評価の方法や質問は、認証製品（MKA-K）で実施したものと同様とした。

- 評価対象：当社社員で且つ当該製品と無関係の部署で働く社員 50 名

区分	年齢	男性	女性	合計
20代成人	20～29歳	5	5	10
30代成人	30～39歳	5	5	10
40代成人	40～49歳	5	5	10
50代成人	50～59歳	5	5	10
60代成人	60～65歳	5	5	10
合計		25	25	50

- 調査期間：2024年4月18日（木）
- 調査方法：認証取得済のMKA-Kと、今回認証継続を希望するMKR-Wの2種類のワンプッシュマグボトルを用いて、満量（水、湯）および少量（水、湯）の4パターンで飲み比べしてもらい、質問に回答してもらった。その後、「総合的な飲みやすさ」について、「よかった、ややよかった、よくも悪くもなかった、やや悪かった、悪かった」の5段階で評価してもらった。
- 「飲みやすさ」の主観評価の質問と選択肢は以下の通りである。
 - ・唇に何か当たって気になったか（気になった／気にならなかった）
 - ・飲み口のフィット感はどうだったか（よかった／ややよかった／よくも悪くもなかった／やや悪かった／悪かった）
 - ・ふたが気になったか（気になった／気にならなかった）
 - ・首や手の負担はあったか（あった／なかった）

なお、開閉ボタンやロック構造には変更がないため、「開閉しやすさ」に関する質問は除外した。

● 調査結果

満量の結果は、以下の通りとなった。

表 1 調査結果 満量 (水)

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
唇に何かがあたって 気になったか				
気になった	4	8%	16	32%
気にならなかった	46	92%	34	68%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
飲み口のフィット感は どうだったか				
良かった	13	26%	6	12%
やや良かった	17	34%	17	34%
良くも悪くもなかった	20	40%	19	38%
やや悪かった	0	0%	8	16%
悪かった	0	0%	0	0%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
ふたが気になったか				
気になった	15	30%	9	18%
気にならなかった	35	70%	41	82%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
首や手の負担は あったか				
あった	5	10%	5	10%
なかった	45	90%	45	90%

表 2 調査結果 満量 (湯)

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
唇に何かがあたって 気になったか				
気になった	5	10%	11	22%
気にならなかった	45	90%	39	78%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
飲み口のフィット感 はどうだったか				
良かった	19	38%	8	16%
やや良かった	17	34%	12	24%
良くも悪くもなかった	13	26%	24	48%
やや悪かった	1	2%	6	12%
悪かった	0	0%	0	0%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
ふたが気になったか				
気になった	13	26%	4	8%
気にならなかった	37	74%	46	92%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
首や手の負担は あったか				
あった	4	8%	1	2%
なかった	46	92%	49	98%

満量では、唇への不快感やフィット感、首や手への負担感については、認証製品同等またはそれ以上の高評価を得られた。但し、ふたが気になったかについては、認証製品より「気になった」という回答が増加した。

理由について詳しく見てみると、「ふたの圧迫感はないが、せんとフタの間のヒンジが顔に近くなった」との意見が複数あがっていた。今回の変更で、飲み口からヒンジまでの距離が 46mm から 41mm ～ 5mm 短くなったことで、飲み口に唇を沿わせて本体を傾けた際、ヒンジがより顔に近くなったことが要因と考えられた。

【取得済 MKA-K のせん画像】



【本申請 MKR-W のせん画像】



少量の結果は、以下の通りとなった。

表 3 調査結果 少量（水）

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
唇に何かがあたって 気になったか				
気になった	4	8%	13	26%
気にならなかった	46	92%	37	74%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
飲み口のフィット感 はどうだったか				
良かった	17	34%	10	20%
やや良かった	16	32%	13	26%
良くも悪くもなかった	16	32%	22	44%
やや悪かった	1	2%	5	10%
悪かった	0	0%	0	0%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
ふたが気になったか				
気になった	26	52%	14	28%
気にならなかった	24	48%	36	72%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
首や手の負担は あったか				
あった	12	24%	10	20%
なかった	38	76%	40	80%

表 4 調査結果 少量（湯）

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
唇に何かがあたって 気になったか				
まった	4	8%	13	26%
まらなかった	46	92%	37	74%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
飲み口のフィット感 はどうだったか				
まった	20	40%	8	16%
まかった	15	30%	15	30%
良くも悪くもなかった	13	26%	22	44%
まかった	2	4%	4	8%
まらなかった	0	0%	1	2%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
「気になったか				
まった	21	42%	14	28%
まらなかった	29	58%	36	72%

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
首や手の負担は あったか				
あった	11	22%	14	28%
まらなかった	39	78%	36	72%

少量では、満量よりも、ふたが気になったかの設問に対して「気になった」という回答が増加した。少量を飲み干す際には、満量するときよりも本体を傾けるため、よりヒンジの近さを感じやすくなったと推測される。それ以外の項目は、満量と同様に認証製品と同等もしくは高評価を得られた。特に「飲み口のフィット感」については、唇によりフィットするという意見が複数見られた。今回の申請品は、飲み口高さを15mm から 17mm へ 2mm 高くしたことで、唇で飲み口を啜えやすくなったことがフィット感の良さに繋がったと考えられた。

表 5 総合評価

	MKR-W		MKA-K	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
総合的な飲みやすさ				
良かった	15	30%	6	12%
やや良かった	19	38%	20	40%
良くも悪くもなかった	14	28%	22	44%
やや悪かった	2	4%	2	4%
悪かった	0	0%	0	0%

総合的な飲みやすさでは、今回の申請品の「良かった」「やや良かった」の合計は 34

名であり、認証済 MKA-K の 26 名より、8 名、多かった。「良かった」という回答も認証済 MKA-K よりも 9 名多く、本申請品の有効性を確認できた。

但し「フタが奥まで開き飲む際の圧迫感が少ない」については、上記の結果を受けて認証申請項目から削除する。

以上